

JR土山駅南の和解は

青雲21代表質問
藤原 秀策



町長 協議書第6条による



▲整備が待たれるJR土山駅南の未整備地

問 先日のはりま病院側との和解で多額の出費を強いられたのは、平成17年に日本テルペン化学㈱と交した協議書が一因か。

答 前任者と交した協議書第6条で「甲、乙の間には以上のほか何らの債権、債務も存在しないことを確認する」とあり、テルペン側は、これが完全清算条項であると主張している。

問 未整備の土地からも産業廃棄物などが出土する可能性はあるのか。

答 その調査方法は検討

問 この土地は、町が整備するのか、あるいは売却もあるのか。

答 財政負担を考えながら、民間活力も視野に住民の利便性を図り、町の玄関口としてふさわしい景観づくりにも努めたい。

問 旧集落にある多くの生活道路は狭く、緊急車両の進入、災害時の避難路の機能を発揮できないなど、いろいろな問題を抱えている。安全・安心の町づくりの観点からも、狭あい道路拡幅整備条例を制定すべきでは。

答 土地の境界が明確になる地籍調査が進めば、どのような手法が公平性、均衡性を保てるか検討したい。

問 町は条例を制定し、2項道路の中心後退をした土地を道路に供されるよう努力すべきでは。

答 今は、条例制定は考えていない。

障がい者雇用の推進を

町長 就労できる環境づくり必要



青雲21
宮宅 良



▲高等部スローガン「はたらく人になる」

問 障がい者のもっと働ける環境を整え、所得水準を上げ経済的自立によって他の支援の不十分な方とところに、支援を集中させていく必要がある。また、一般就労が困難であっても、働く意欲がある障がい者を雇用することができ、社会的雇用を調査研究・推進すべきでは。

答 働きたいと望む方が、障がいの有無に関わらず、就労できる環境づくりは必要である。調査研究すべき事項は多岐にわたり、

問 多様な関係機関が共通の認識を持って調査研究や協議を行う必要がある。

答 各公共交通機関が共通した認識で連携した取り組みが必要で、本町だけでなく広域的な組織での働きかけが必要である。

問 移動が困難な方々が容易にバリアフリー状況を把握でき、最適な移動方法の選択が行える移動情報のネットワーク化が必要では。

答 移動が困難な方々が容易にバリアフリー状況を把握でき、最適な移動方法の選択が行える移動情報のネットワーク化が必要である。

問 移動が困難な方々が容易にバリアフリー状況を把握でき、最適な移動方法の選択が行える移動情報のネットワーク化が必要では。

答 移動が困難な方々が容易にバリアフリー状況を把握でき、最適な移動方法の選択が行える移動情報のネットワーク化が必要である。

議案の審議結果【平成23年9月定例会】

(可…可決、否…否決、認…認定、不…不認定、○…賛成、×…反対)

議案名	賛成	反対	議決結果	議決日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
					松岡光子	田中久子	宮宅良	山本雅之	神吉史久	奥田俊則	大辻裕彦	岡田千賀子	藤原秀策	藤田博	河野照代	福原隆泰	木村晴恵	宮尾尚子
工事請負契約締結(土山新高線舗装改修工事)	13	0	可	9/6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
特別職に属する非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	13	0	可	9/6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
播磨町税条例等の一部改正	11	2	可	9/6	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成23年度一般会計補正予算(第3号)	13	0	可	9/6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成23年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	13	0	可	9/6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成23年度財産区特別会計補正予算(第1号)	13	0	可	9/6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成23年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)	13	0	可	9/6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成23年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	13	0	可	9/6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成23年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	11	2	可	9/6	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成23年度水道事業会計補正予算(第1号)	13	0	可	9/6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成22年度一般会計歳入歳出決算認定の件	13	0	認	9/22	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成22年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	13	0	認	9/22	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成22年度財産区特別会計歳入歳出決算認定	13	0	認	9/22	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成22年度老人保健医療事業特別会計歳入歳出決算認定	13	0	認	9/22	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成22年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	11	2	認	9/22	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成22年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	13	0	認	9/22	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成22年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	11	2	認	9/22	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
平成22年度水道事業会計収支決算認定	13	0	認	9/22	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
播磨町議会会議規則の一部改正	13	0	可	9/6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
播磨町議会基本条例の一部改正	13	0	可	9/6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○

※播磨町議会の現議員数14人。採決は、全議員の過半数(7人)以上の出席を要し、議長を除く出席議員の過半数の賛成をもって可決されます。ただし、法律に別の定めがある特別多数議決の場合は、この過半数議決は適用されません。
※議長は採決に加わりませんので、「-」で表示しています(議長=議席10番 藤田博。ただし、議長不在などの場合は副議長)。ただし、賛成と反対が同数の場合には、議長が決します。

平成22年度政務調査費の決算報告

議員の調査研究に必要な経費で会派ごとに交付する政務調査費(1議員につき月1万円)は、平成22年度に216万円で、28万3060円の返還がありました

会派別の使途など

(単位:円)

会派	議員名	交付額(収入額)	支出額				返還額	主な支出内容
			調査研究費	研修費	会議費	計		
公明党	古川美智子 宮尾尚子	240,000	228,215	0	0	228,215	11,785	先進地調査(8・10・11月) 書籍購入
自治クラブ	毛利勝樂 豊恒美	240,000	240,529	0	0	240,529	0	先進地調査(5・11・1月) 書籍購入
住民クラブ	永谷修 小西茂行 藤田博	360,000	327,367	0	0	327,367	32,633	先進地調査(8・10・1月)
新政ネットワーク	渡辺文子 杉原延享	240,000	70,302	0	0	70,302	169,698	先進地調査(5・1月) 書籍購入
青雲21	藤原秀策 岡田千賀子 小原健一	360,000	337,151	34,740	0	371,891	0	先進地調査(5・11・1月) 書籍購入 研修会参加(7月)
日本共産党	田中久子 中西美保子	240,000	174,876	36,740	0	211,616	28,384	研究会・研修会参加(7月) 先進地調査(5・11・1月) 書籍購入
明風会	河南博 福原隆泰	240,000	136,180	63,260	0	199,440	40,560	研修会参加(5・10月) 先進地調査(11月) 書籍購入
緑生会	松本かをり 河野照代	240,000	244,285	0	0	244,285	0	先進地調査(8・10・11・1月)

㊦=代表者